

## 質問回答

2017年7月10日

「2017年度案件別外部事後評価:パッケージⅡ-4 (カンボジア、タイ、ベトナム)」

(公示日:2017年6月28日/公示番号:170401)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P24-25 カンボジア「流域灌漑管理及び開発能力改善プロジェクト」の定量分析	比率のサンプルサイズを求める式 $最大許容誤差 = Z_{\alpha/2} \sqrt{p \cdot (1-p)/n}$ に指定の条件(誤差±5%、信頼度 95%)を入れると最大で 400 近いサンプルサイズになるが、評価スケジュール、分析するデータの種類等を踏まえて、調査手法を適宜提案するという理解で正しいか？	業務指示書に記載のとおり、エンドライン調査が 11 サイト 130 世帯を対象に行われており、事業完了時と事後評価時点でのデータの比較からより意味のある情報を引き出せるよう、原則は同じ方法での調査を想定していますが、効果的と思われる調査方法があればプロポーザルにて提示願います。
2	P24-25 カンボジア「流域灌漑管理及び開発能力改善プロジェクト」の定量分析	定量分析にあたり有料の統計パッケージ(Stata)の利用を検討しているが、その費用を一般業務費に含めることはできるか？	機材費として、別見積りに計上願います。
3	P24-25 ベトナム「貧困地域小規模インフラ整備事業(Ⅲ)」のサブプロジェクト抽出	P24(6)に「代表的なサブプロジェクトを抽出して評価分析」とあるが、これは、①「実査サイトの範囲内で行う想定」の「定性調査」のこののみを指しているのか、それとも②P13及びP20「(実施機関などから入手する)既存データなど」をも指している(つまり、各サブプロジェクトからの既存データも代表的なサブプロジェクトのみから入手するという想定)か？	業務指示書 P.20 5 に記載の通り、本業務においては実施機関などから入手する既存データ等から評価判断を行います。P24(6)に記載のサブプロジェクトの抽出は「定性的効果やインパクトの判断」に用いるための実査サイトの抽出を意図しています。よって、ベトナム「貧困地域小規模インフラ整備事業(Ⅲ)」については、既存データと、抽出した代表的サブプロジェクトの実査を基に評価分析を実施願います。

4	＜共通条項＞P.21 7.現地調査補助員の備上	(1)に記載のある「定性調査／定量調査」および(2)に記載のある「定性調査／定量調査の補助」には業務内容に違いがあるのでしょうか。	(1)と(2)で示す「定性調査／定量調査」自体には違いはありません。
5	＜共通条項＞P.21 7.現地調査補助員の備上	(2)で書かれている「定性調査／定量調査の補助にかかる業務量」とは1.6M/Mを意味するのでしょうか。	1.6M/Mは、現地調査補助業務としての定性調査／定量調査にかかる業務量です。データ収集補助業務分の業務量については、必要な業務量をご提案ください(別見積となります)。
6	＜個別条項＞P.23-24 第2 業務の目的・内容に関する事項	カンボジアの技協案件については、「灌漑センタープロジェクトフェーズ2」と「流域灌漑管理および開発能力改善プロジェクト(TSC3)」を一つの案件とみなしていますが、それぞれの対象地域、上位目標、プロジェクト目標は異なっています。もしこれらを連続する1つの案件とみなすのであれば、事後評価においては、最終的な(フェーズ2の)対象地域、プロジェクト目標、上位目標を基準として評価するのが適切と考えます。一方、指示書ではTSC3についてその対象の11のモデル地区のすべてを実査すべしとありますが、そのすべてがフェーズ2の対象とはなっておらず、全体を1案件としてとらえた場合、11モデル地区の属性(プロジェクトの介入の程度)が異なり、同じ母集団としてみることに困難があるのではないかと考えます。これら2案件を本事後評価においてどのように位置づけ、評価の基準となる対象(地区・受益者)、案件の目標と上位目標をどこに設定して評価することを想定しているのでしょうか。	<p>① 2案件の事後評価をする際、サブレーティングや総合レーティングについては、2案件を総合して一つのレーティングを行いますが、これは必ずしも「1案件として」評価するというのではなく、各事業の達成度は、成果・プロジェクト目標・上位目標ともに、それぞれご確認願います。各事業の達成度を個別に確認したうえで、2事業の関係性や重要性等を考慮して総合的にレーティングをするという方法を取ります。</p> <p>② 業務指示書 p. 24-25 の該当箇所については、あくまで上位目標の指標のデータを取得することを意図しています。また、原則はエンドライン調査と同様の手法で定量調査を行うことを想定しています。</p>

以上